

議長定例記者会見（R2.3.24）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

まず初めに、2月定例会採決結果について報告をさせていただきます。

知事提出議案104件のうち、令和2年度青森県一般会計予算案を含む議案91件を可決・同意し、報告のみが13件ございました。

議員発議案につきましては、提出された5件が可決となりました。

請願につきましては、受理されました1件が不採択となりました。

なお、今定例会では、委員会開催日に、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策として、知事より令和元年度及び2年度補正予算案が提案され、活発な質疑が行われました。

次に、議会運営委員会小委員会からの報告につきまして申し上げます。

昨年6月に議会運営委員会に対し検討を依頼した「議事運営に関する議会改革検討項目」20件について、本

日の議会運営委員会において、同委員会小委員会から報告があり、承認されました。

なお、「一般質問の再質問、質疑での執行部の答弁を自席で行う」、「ペーパーレス化の推進」及び「タブレット端末等ICT導入の推進」の3件につきましては、他県の状況等も踏まえながら、今後継続して検討していくことになったものでございます。

最後に、議会改革検討委員会からの報告について申し上げます。

昨年6月に議会改革検討委員会に対し、検討を依頼した「議事運営以外の議会改革検討項目」について、3月11日、議会改革検討委員会の三橋一三委員長から検討結果について中間報告があり、12日に開催した各会派代表者会議において、議員派遣の改善策など6件について報告のとおり実施することが了承されました。

また、「議会報告会の開催」等、引き続き検討を要する項目につきましては、議会改革検討委員会において、継続して検討していくこととなりました。

私からは以上でございます。

（質問）

○記者

お話しにもあったように、今回の県議会、新型コロナに

ついても様々議論がされた中で昨日になって感染者が確認されました。

今後、様々執行部でも対策がとられるとは思いますが、すけれども、県で初めて感染者が確認されたことへの議長の御所感と県議会の役割について伺えればと思います。

○ 森内議長

本定例会において、補正予算案に係る追加議案に対応するための日程変更はございましたが、傍聴者の感染予防を講じる対策を講じつつ、何とか本日の閉会日を迎えることができたところでございます。

昨日、本県においても新型コロナウイルス感染者の発生が発表されたところでございますが、我々議会としても早急に対応していく、そして早期に終息することができるよう、県と一体となって尽力したいという思いがあります。

このため、まずは、本部長である知事に強い指導力を発揮していただきたいことと、初動の対応が一番重要であると私は思いますので、従事する健康福祉部及び危機管理局の職員が十分力を発揮できる、活動できるよう我々も協力していかなければならないと考えています。

○ 記者

昨日、青森県内初の感染者がでたということで、今日の議会運営委員会では一部の野党議員から知事報告に質疑をしたい、全員協議会や臨時会の開催を求める声もあり

ましたが、こういう声についてはどのようにお考えでしょうか。

○ 森内 議長

その声については、その人たちが必要だという思いからの発言だと私は思いますが、今大事なのは、私としては、先ほど申し上げましたとおり、執行部の足を止めてはいけないということ、このコロナウイルス対策にはそれが一番だと思っています。

全員協議会を開催すると答弁する知事、健康福祉部長、危機管理局長などが時間をとられ、対策を進めることができないおそれがあると思います。

このため、この事案に関しては、一部の方がおっしゃっていることは、適切ではないと思います。